

みうらトーク&トーク 平成 26 年度第 2 回

日 時

平成 26 年 6 月 25 日(水)

19 時 00 分～20 時 00 分

参加者

三崎開港祭実行委員会

テーマ

「三崎開港祭・ミサキファンクラブの活動を通じた
地域力の形成について」

<意見交換・概要>



市長 それではよろしくお願いします。

三浦市は今、観光政策に関していろいろやっています。メディアですとか映画舎のフィルムコミッション事業などの集客援護策を行っていきまして、お客様も三浦市に来てくださっている実態があります。そういった素材があるということですが、行政もいろいろな手法があるので観光施策や集客のシステムというのはどれが一番というのではなく、幅広くいろいろな取り組みをすることが一番良いと私は思っています。三崎開港祭は市民部が市民活動支援として取り組みを始めた「まちカル」からスタートした事業ですので、今まで政策として進めてきた観光施策とは違った、皆さんが進めている極めて良い形で進んでいる事業だなと思っています。観光の担当からすると直接あまり関わっていないから、ちょっと役所の縦割りの悪さのようなものを皆さんが感じることもあるかもしれませんが、きちんと経済部と市民部が連携すれば良いと思っています。まず、この開港祭の取り組みですが、別に組織化していない感じですか。

市民 それぞれ得意分野があるので、自分の得意な分野で開港祭にコンテンツを持ち寄ってやっている形です。その中での実行委員会の集まりになっています。

市長 この活動は、開港祭の時期だけ活動しているのではなく、一年中行っている企画を興味のある人たちに発信しているのだと思うのですが、今後予定されている企画があれば教えてください。

市民 まだまだ、未定な状況です。予算も無いし、皆忙しい中での取組なので、一応秋に第 3 回開港祭を行いたいと考えているのですが、あくまでも予定です。内容も、これまで取り組んできた文化系事業である手作り作品市や音楽イベントといったものをメインに行っています。前回、第 2 回ということで三浦市内外のパン屋さんなどに海南神社で出店をお願いしたマルシェを開催したり、銀座通り商店街等の中で催しを行ってもらったりしています。サヌキメイド展という、四国香川県の方々との交流が生まれました。その交流を深めていきたいとも考えています。

市長 サヌキの方とはパイプがあるのですか。

市民 私が香川の出身であるので、端を発したのは個人的なところですが、お互いに非常に相性
が良いのではないかと考えています。来ていただくと気に入ってもらっています。以前から、
香川県漁連が三崎と関わりがあったり、四国との親交というようなもの船乗りの皆さんは金
毘羅様にお参りに行ったり、昔からの繋がりがあったのではないのでしょうか。僕らから予算
を用意していないので自費で来ていただいて、毎度 1 週間くらい滞在して、各自の作品を
展示していただいたり、表現をしてくれています。もう 3 回、三崎開港祭は 2 回ですが、
その前から来ていただいています。

市長 それでは、今、感じることであります。三浦市のこと皆さんいろいろ発信してくれて
いますが、感じていることであります。例えば、SNS の発信が少ないとか、もっと情報
ネットワークを活用すべきだろうとか。街が汚いとかトイレが少ないなどの話はもういた
だいていていますが、現実的なハード面の課題はたくさん言われています。イベントの時
など困ってしまうケースがあるので問題点としてとらえていますが、皆さんが今感じている
ことをお聞かせいただきたい。実行委員会としてやろうとしていることは、我々では気づか
ないことが多いと思います。

市民 実行委員会に参加させてもらい感じていることは、市民の皆さんの活発な活動を行政も積
極的に活用すべきと感じています。三崎開港祭やミサキファンクラブは今までの観光客とは
違ったニーズを掘り起こしていると感じます。行政もこれらの流れを利用するというか活用
することが良いと思います。公の考え方がだいぶ変わってきています。ミサキファンクラブ
のサイトは行政では絶対できない発信力があると思います。行政はどのようなサポートがで
きるかわかりませんが、三崎開港祭やミサキファンクラブの活動を活気あるものにしていけ
れば。先ほどのサヌキメイドなどは、全く新しい三崎ファンを産むコンテンツです。ただマ
グロを食べて帰るのではなく、アーティスティックな方が集まって来る。魅力ある活動を行
う実行委員会です。ぜひ、うまく活用利用してくればこちら側の励みにもなります。

市民 私は手づくり作品市を主催しています。第 7 回を迎え遠くは新潟から、三浦市内の方も
出展してくれています。海辺の町で開催することで楽しんで参加してくれています。ここ
でも、先ほど話題にあった交通アクセスの悪さが話題になっています。車で参加者も多い
ので駐車場も足りていない状況です。出展者の駐車場が手立てできれば。

市民 観光客以外でも市民が気軽に市内で活動するためにも駐車場を整備してほしいという要
望は多いですね。

市民 手づくり作品市は市内の参加者に多く参加してほしいので、出展料を無料にして呼びかけ
ているのですが、駐車場の少なさで二の足を踏んでいます。また、今回は、大変人気のある
着物のリフォームで作品をつくるサークルにお願いして大勢の来場者を集めたのですが、来
てくださった方は車はダメだからバスで来てくれたのですが渋滞して 1 時間もかかったと
のことでした。車で来やすいとかになれば人が来ると思います

市長 わかりました。数が集まれば市役所を駐車場として開放することも考えられますがいか
ですか。

市民 市役所の駐車場はもちろん良いのですが、少し遠いのと他の団体が利用するので手づくり

作品市としては案内しなかったのです。

市長 わかりました、インフラの問題ですね。

市民 三崎開港祭とかミサキファンクラブは 100%ボランティアですべてをやっているのですが、少なからず認識していただいているようですが、今のところどのようにご認識いただいているのかお伺いしたいのと、どのような支援を考えてくれているのか市長さんだけではなく経済部や市民部の方にもお伺いしたいのですが良いですか。

市長 私は、「まちカル」の時からご協力いただいていた、その活動を徐々に広めていただいている、同じ目的を持って活動していただいている方々だと認識しており、お世話になっている皆様と認識しています。

市民 では、今後私たちの活動をどのように支えていただけるのか、今の時点で結構ですので考えをうかがえますか。

市長 どのようなニーズがあるのか教えてほしいと思っています。

市民 そのニーズに対して考えていただけるということですか。

市長 そうです。

市民 では市民部と経済部の方にも伺ってよいですか。

職員 我々はシティセールスプロモーションの業務を行っています。何を行っているかという
と、市内の経済の活性を 6 次経済という言葉を作って取り組んでいます。より多くの人に
三崎に来ていただいて経済効果を高め、まちを活性化していくことが目標の一つです。それ
であれば日帰りでも来てもらっても良いかもしれませんが、我々は三浦ファンを作っていこう
と取り組んでいます。一回来てまぐろを食べて帰ってしまい二度と来ないのではなく、まぐ
ろがきっかけでも、まちに面白いところがありそうだ、次はそこを見てみよう。三回目は、
面白い祭がありそうだ次回はそれに参加してみようということでリピートしてもらいな
がら三浦のまちを好きになってもらえる人を増やしていきたいと行政の仕事して取り組んで
います。ミサキファンクラブさんは市民主導で取り組んでいらっしゃる。行政側と市民の発
意で取り組んでいることとどう関われば支援ができるのか、お話を聞いてできることはして
いきたいと考えています。私が思う本来のまちの活性化は、皆さんのように市民が集まって
ボランティアとおっしゃっていましたが、そのような形で行っていくことがベストだと思っ
ています。

市民 できることというのはどのようなことがあるのでしょうか。

市長 役所に何かを期待するということは、まったく意味がないのではないのでしょうか。いろ
んな市民の皆さんが観光事業に取り組んでくれています。それらの事業には補助金として支援
しているものもあります。しかし、それは、いつまでも続かないのです。だから、ミサキフ
ァンクラブのように皆さんが自発的に行う活動に対してサポートを行う時代になってきて
いるのです。それが大事だと思います。行政が何をしてくれるんだといっても、結果的に
一緒にやって我々でこういうことができるのだと必ずなりますので、そういう動きがベスト
だと思っています。後でお話をしようと思っていましたが、三崎鉄火巻のイベントを行って
いますが、行政はほとんど関わっていないのです。最初はご一緒していましたが、運営等も、

補助金是一部出ていますが下町商店街の皆さんが取り組んでいます。一方、「みうら夜市」はお盆の風物詩として取り組んでいこうとしていますが、全く行政主導で行っていて、下町の皆さんも行政が行っていると思っている。今後変えていかなくてはと思っています。また、うらりでお盆に花火を行ってくれています。皆さんも関わってくれているかもしれませんが、あれは、まさしく皆さんと同じ形態で取り組んでいただいているものです。本来そういう形があるべき姿だと思っています。支援をしないという話ではありません。三浦市のためになる事業であれば、たとえ予算を使うことも認められると思うのです。だから、ぜひ、そのような視点で一緒に取り組んでほしいというのが私の率直な意見です。それを実現するために行政がどのようにかんでいくかは、地元で生まれ育っている人達と、外側の視点をお持ちの新しい市民の皆さんと一緒に加わってもらい、意見を伝えてほしいのです。

市民 僕はミサキファンクラブを行っているなりに、三崎や三浦が好きだからだけではなくて、僕はウェブアプリ業者として、この土地でちょっとセンスの良いものかっこいいものを発信するというのが、僕らのブランディングにもつながるということもあってやっているという側面もあります。自分たちの仕事につなげていきたいと考えているのです。もちろん、始めた以上は、はい止めます、ということとはできないと思っています。実際、横須賀市が絡んだ話で FM 横浜のスマホアプリの仕事をします。横須賀と逗子の観光ガイドアプリです。僕らの思惑としてはミサキファンクラブのサイトを作ることによって仕事が入ってくるようになる理想ですし、広げていこうと考えています。そうすると三崎開港祭やミサキファンクラブをやっている暇がなくなるかもしれません。そこで、ミサキファンクラブを運営するために人を雇おうとは思わないので、ボランティアでいくということになれば続かないことになります。直接何してほしいかというと、例えば、ミサキファンクラブに三浦市のバナーがどーんと載って広告料がもらえるということも良いのですが、もうちょっと働きやすい環境があったり、税制優遇などがあると、僕らの仲間がここに来たがり仕事がしやすくなるでしょう。僕らはお祭りに来られるお客さんを呼び込むことに関心はなくて、そういうものももうすでに取り組まれているし、土日は渋滞するくらい人が来ている。そうではなく違った人達に三浦の面白さ良さを知ってもらい、僕らのような働き方を知ってもらい、IT ではなくても良いのですが、また違ったまちづくりにつながり、僕らも働きやすくなるのではないかと考えています。

市長 開港祭を 2 回やっていただいて市からはお金を出しておらず、財政的にはどうなのか心配していたのですが、予算付けてくれという話もないので心配は確かにしていますが、他の観光施策などにも補助している事業もあるのでばらつきがあっても良くないだろうし。市民の方たちの活動で市のために PR してくれているのだから、おんぶにだっこで、どうぞ、勝手にやってくださいというわけにもいかないだろうし。それは考えようと思っています。

市民 稼ぐにしても観光客を呼ぶことが大事だとか、人口が増えろとは思っていないのです。もちろん、人口構成は若返ることが理想ですが、まちが大きく変わることを望んではいません。例えば、自宅のそばに家が建ち始め都市のようになるのは嫌なので引っ越しを検討したくなっています。街が大きく栄えることは望んでいないのです。今、画面に映していますが、ア

ートモニュメントを作ろうと活動を始めました。このような取り組みはイベントなどとは違って、わかりやすく言うともぐろ祭りやりますよ、買いに来てください。というのと発想が違うのです。このモニュメントを見に来る人というのは、土日に車で来る人とは違うような気がします。外国からバックパックを背負って、ふと訪れるような。今まで来なかった人が来ると。

市民 この団体は、まったく新しい価値観を生み出しているので行政はどこまで評価を与えられるか難しいと思います。現状の今までの観光系の誘致とは違う、例えば仕事を生み出すようなことにもつながるような全体的なプロデュースを行う力のある団体だと思います。

市民 今後の三崎開港祭三回目を考えると宣伝費もないような状況です。極端な話 1 万円出すのも大変な状況で、極端な話、全員が潤沢に潤うことを求めているのではなく、あくまで最低限のイベントの体裁を整えるための費用ですが、それは逆にこちら側からも出そうと思えば出せるのですが。これまでは、皆で折半をするとか、参加費を先食いをしていてやっていますが、例えば、当日大雨が降って中止になると皆で補填しなくてはいけない状況です。それは、何とか出したいと思っているのですが、そこで、桑村さんから話がありましたがクラウドファンディング型という、いわゆる、上から降りてくるものではなく、市民が望む物を皆さんの気持ちで実現するという一つのスタイルですが、これはおそらくクラウドファンディングが流行っているからではなく、必然的に行き着いた考え方だと思っています。市に言っても厳しいかなと、僕らも漏れうかがっていると三浦市は財政的にかなり厳しいといろいろなニュースからも聞いています。これはたまたま、僕らが今度行く胴網海岸にある監視塔がぼろぼろで壊れてしまっていて、観光商工課にも伺ったのですが、市には市の予算であることはあるが潤沢にはないという話でした。じゃあどうすればいいんだって言う話の中で、香川県の鉄工アーティストの方が私が作りますよと言ってくれたのですが、運搬費用であつたり、材料費はかかってしまうので、それは捻出してくれないかという話になりました。この話をもらった時に、監視塔って個人が発注して個人が負担するものではないように思えたのです。じゃあこれを市民に呼びかけて、3 年間休業していた胴網海岸を復活するときに何か市民が贈り物をするようになると良いなと。しかもアートモニュメントであるということがもう一つのポイントだと思います。単なる実務的な監視塔を鉄工所に頼むのではなく、アート作品であるということなのです。

市民 デンマークには、デザイナーのアルネ・ヤコブセンがデザインして作られたものがあります。このようなアート作品となると世界中から見物客が集まってきます。

市民 実際に僕は見に行きました。この塔を見にデンマークのベルビュービーチに行きました。そういった人が世界には少なからずいて、逆に、世界中から胴網海岸に見に来る人がいると思います。そういった発信をすれば良いのです。塔マニアとか灯台マニアなどのどこかに引っかかれれば良いのですが。そうすると、浜に建っている監視塔を見に行きたいと思って来ます。三浦には様々な景勝地があります。そのバランスを壊さないアート作品があれば、例えばこれが第 1 号で、第 2 号、第 3 号と市民の力で適切な場所に、非常に良い状態で建造されれば、アート巡りができる半島になるかもしれません。それが、今回のさっきまでの話で

市にお願いするということではなくて、市民でやっちゃおうということで、この設計図面を T シャツにして、5,000 円なら出せるよという人を 100 人集めて、それぐらいなら今の僕らのネットワークだったらできるのですね。逆にそれを市民協働課の方でバックアップとして新聞に載せてもらったり、そういうような支援の形も理想的なのかもしれません。

市長 それは、三崎開港祭実行委員会に取り組んでいるのですか。

市民 ミサキファンクラブです。

市民 三崎開港祭の中で、サヌキメイド展というコンテンツでサヌキの人たちとの交流があったそのメンバーの一人の作家さんです。

市長 目標額はどのくらいですか。

市民 5,000 円で T シャツと名前の刻印されたプレートを本体に取り付けるセットで 100 人集めたい、ようは 50 万円です。それで、作家さんに支払いができ多少残った部分でメンテナンスもできるようにしたいと考えています。また、ミサキファンクラブがこのように物販ができ、種銭づくりができるとそれはそれで良いかと思っています。当初は企業広告を入れて運営するのが良いと考えましたが、時代が時代なので皆さん広告というのは費用対効果の世界になっていて、お金が余っているから出すというものではない。だけど、T シャツとプレートのセットなら 5,000 円出すよという市民をたくさん集めて、まちをどんどん楽しくしていこうと。例えば、この塔も監視塔ということなので成立したのですが、勝手な所に勝手なものは立てられないので、例えば、浜の占有のことであったり、市が持っている土地への設置などについてプレゼンテーションさせてもらったり。

市民 三浦市として必要な看板などについて、設置する際に旧来のものを設置するのではなく、作家さんに依頼できるようにするなどができれば違った雰囲気のマチになるとおもいますし、アートを好きな人たちが遊びに来るかもしれないですし、住み始めるかもしれません。企業誘致とは全く違う観点ですが。

市民 鎌倉市はクラウドファンディングで観光看板を設置する運動があります。その活動よりもアーティストが作成し、市民が行っているということでこの取り組みは評価されると思います。今後の展開も、行政と連携することによって広がり期待できます。

市民 そうですね、行政側で規制などの手続きなどを解決してもらって、僕らがアーティストなどと調整して提案し実現させていくのが、ここでの連携のスタイルなのかもしれません。あまりお金の話は期待できないようですし。行政が発信することによって抵抗感を示す人たちがいます。税金を使ってやっていると。しかし、ミサキファンクラブが市民の力で建てたいと思いますとなれば、いけいけと応援してくれるようになる。それぐらいの差があると思います。これは時代の流れなので、これはお互いに。でも、僕らは規制とかは緩和できない、ルールの中でやるしかない、勝手な所に勝手なものは作れないので。行政にはできるのだから、お互いに腹が痛まないところできうまく連携していただければ。

市長 もう始めているのですか。

市民 今日明日くらいからスタートです。

市民 もうサイトはオープンしています。

市長 これは三浦市の胴網海岸が再開して三浦市にとって喜ばしいことなので、広報なども普通にできると思うのだが。その時に市民協働課が窓口になっているのだから協力を惜しむことはないと思います。一緒にやらせてもらうのが良いのではないのでしょうか。

市民 予算のことを求めるよりも、このような取り組みの中で一緒にやってもらうことの方が良いと感じています。

市民 このような取り組みが一つのイメージづくりにつながるのではないのでしょうか。三浦って行政と市民が手を組んで楽しいことをやっていると伝わるのではないのでしょうか。

市民 三浦国際市民マラソンの参加 T シャツもアーティストが手掛けると変わってくると思います。

市民 ミサキファンクラブのサイトを見ていただければ、センスの良さが感じられると思います。利用すべきだと思います。

市民 三浦の中でも、いろいろな部署なり、いろいろなところで取り組みがあるのが束なっていないことがとてももったいない。例えば、予算がたくさん用意されている事業があれば、まったくなくてパンフレットも作れないなど、そういったことがもったいないと感じます。

市長 それは、おっしゃるとおりですね。パンフレットは、県の費用だったり、京急が作っていたりしているので、連携する良い方法が無いかと常に話をしています。三浦市の観光情報だけはあまり意味がないと考えていて、三浦半島地域全体が網羅される良いと、なるべく横須賀なども含めた形で考えています。

市民 三崎港付近でパンフットを持って迷っている市民をよく見かけます。みな、まちまちなパンフレットを持って迷っているのですが、より、大まかな情報ではなく親切で細やかな内容を求めていると思います。

市民 どちらかという、観光的なことを作り出してそれで人を呼ぶというより、楽しいことを自分たちでやってそれに共感してもらうというスタイルが基本なのです。だから続けられるのです。いくらボランティアと言っても自分たちが楽しんでいるはずだし、それをなにか感じて、それは SNS を使ってということなのですが、そういう人たちが集まってくれるという、本来の行政が取り組んでいる方法論とは違うと思うんですね。何か作って人を呼ぶという方法ではなく、人にここって面白いよね、三崎って良いよねとか共感をもらうということなんです。それって市民目線だから共感なのです。そこには利害がないというか、本当においしいとか楽しいと思うから人が集まってくる。それと行政との組み合わせということを考えたほうが良いなと思います。僕らにしかできないことがあり、行政ができることがあり、お互いの領域を行き来しようということではなく尊重してもらえば良いかなと思うのです。尊重の仕方がどんなことがあるのかなということです。行政は行政でしかできない力を持っています。

市民 「うらふら」というコミュニティペーパーを発行しています。きっかけはまちカルからでしたが、当時は広告を出せないという制約もあったが、紙面に影響を受けるのもよくないと思い、現在発行費用は「手づくり作品市」の参加費用を充てています。

市長 このスペースは、みうら映画舎がやっているので、このスペースを使って販売等も可能な

ので利用されてみてはいかがでしょうか。

市民 時間もなくなってきましたが、もう一つ重要な一番若手メンバーですが、次世代の彼女はゲストハウスを三崎で行うのが夢で今鎌倉のゲストハウスに修業に行っています。彼女から三崎に寄せる想いをぜひ。

市民 ありがとうございます。先ほど経済部の方の話しにも関連しますが、三崎に遊びに来ていらっしゃる方のほんの少ししか泊まらないのです。では、どれだけ三崎に来ているとかというと、市の人口の約 100 倍が来ています。ただ、日帰りで帰ってしまうと、地元商店街の方も言っていると思いますが夜の売り上げが無くなってしまいます。三崎ってマグロ船が来ていた町なのでお酒を飲むスナックなどがたくさん残っているのですが、観光客の皆さんがその楽しさを知らないで帰ってしまうのはもったいないと思います。後は三崎には若い人の働き口がありません。若い人の働き口を作りたいという思いと地元をもっと知ってもらいたいので滞在してほしいという思いが重なり三崎にゲストハウスが合ったら良いと思っていて、今、鎌倉のゲストハウスに修行に行っています。三浦市も観光客にもっと滞在させることに力を入れたほうが良いと思います。ゲストハウスを作れとは言いません。自分がやりたいので、国の政策として観光だとか旅館法でしたか。

市民 国家戦略特区のことです。2020 年の東京オリンピックを機会に外国人にどう滞在してもらおうかというメニューの中に、旅館業法の規制緩和や古民家利用の建築基準法の緩和というのがあるので、彼女がやりたいことが三浦市の行政としてバックアップしてもらえる体制が整い内閣府が規制緩和に動いてくれれば。既存の旅館の方とのバッティングも気になりますが、対象が違ってくると思うので、今までとは違った価値観を持った客層が来ると思います。

市民 今、旅館やホテルに泊まっている人とは全く違う客層が来ています。三崎開港祭を 1 回目は 1 週間以上行ったりしていますが、そういう際に毎日通うのは大変なので泊まる場所が有ったら良いという話を聞きますし、三崎ファンの人たちからも手軽に泊まれる場所が有ったら良いという意見を聞きます。そういうファンを受け入れる場所が無いことはとてももったいないです。滞在してもらってもっと三崎の良さを知ってもらいたいですし、ゲストハウスは素泊まりですが、お風呂と寝るところがついていて、食事は外食でも良いし、キッチンで作っても良いので、地域を知ってもらい拠点として使ってもらえればと考えています。

市民 働き方も面白いというか、半分はボランティアスタッフだったりするのでしょうか。

市民 鎌倉ではそうです。元料亭で囲炉裏があつたりするので外国人にも人気ですが、スタッフは住み込みの 4 人で 1 人は宿の管理をする人で、残りはフリーアコモデーションと呼ばれる寝るところと食事は出すので働いてくださいという給与の無いスタッフですが、モチベーションも高く、今いるスタッフは 20 代の若いスタッフが揃っています。お給料が出るのが一番良いのですが出なくても働きたいという人が増えている。ゲストハウス自体も全国的に増えていて人気です。これから三崎が観光としてやっていくのにとっても良いと思います。

市長 誰が所有しているのですか。

市民 オーナーさんがいます。もともと施設を持っていた人です。そこから借りてゲストハウスを運営している人がいて、その下にスタッフがいます。

- 市長 やっている人は、大家に家賃を支払って経営しているのですか。やっていけるのですか。
- 市民 やっていますね。
- 市民 ゲストハウスが民宿や旅館と違うのは、食事を出さないですし、場合によっては相部屋もあるような施設です。そこで、地元の魚屋で魚を買って自分たちで食べるような自分の好きなスタイルで滞在することができて、単価は安いのですが、入れ代わり立ち代わり賑やかなところが多いと言われています。
- 市長 三崎の空きホテルなどはどうですか。
- 市民 あそこは大きすぎるのでは。どこでも良いわけではなく、オーナーも理解のある人でないと難しいのでは。
- 市長 三浦市にたくさんの来遊客が来るが宿泊型になっていないということが市としても課題と考えている。これから、城ヶ島の宿泊施設の整備など入ってくるのですが、いろんな議論があるのだが、跡地に関しては市民アンケートなども行っていくことになりますが。
- 市民 手づくり作品市の出展者などにも、ゲストハウスの需要はあります。コミュニケーションの場としても有効と聞いています。早く実現すると良いなと感じています。
- 市長 それは旅館ではなく部屋だけあって宿泊する人は満足するのですか。
- 市民 それぞれの雰囲気があって、例えば鎌倉では囲炉裏があるとか。
- 市長 そういった特色があるとか。
- 市民 運営している人のセンスにもよると思います。例えば自転車に乗って旅をしながらゲストハウスを巡る旅行者がいます。
- 市長 それって、そんなには難しい話ではないということですか。
- 市民 難しくないかもしれませんが、先ほど言った規制の部分や、国からの政策的な資金などがあれば、今は資金が無いのです。一番足りないのは資金です。補助制度などあれば、使わせていただきたいという要望はあります。
- 市長 頭に入れておきます。今まで行政は何かやるときに気を使うことになります。
- 市民 彼女がやろうとしているゲストハウスとか、外国人の旅行者、三崎は特に少ないのですが。やっぱり、アクセスが無理ですね。バス乗り継いで移動するのは。例えば彼女が鎌倉のゲストハウスで三崎に行けばと説明してもなかなか難しいと思います。
- 市長 今、京急に羽田空港から直接バスを三浦に出せないか打診しています。
- 市民 それいいですね。鎌倉と羽田と一日 1 本でも週末だけでも良いのでコミュニティバスでも出ていれば。小さい望みがあれば、大きいものがいきなりできなくても小さい取り組みがあれば変わってくると思います。インフラが悪いので、鎌倉や羽田にコミュニティバスが出れば、僕らの発信もそれを使った発信ができるようになります、変わってくると思います。
- 市長 このように市民の皆さんと話をする機会が無いので、新鮮なご意見をいただいたと思いますので、ぜひ、これからもよろしくお願いします。なんか役所がいまいちでしょうか。大丈夫ですか。そんなことを言われないうちに市側もうまく関わらせていただきたいと思っています。これがまさしくこれが市民の皆さんと一緒にできる良い事業だと思っています。行政が仕掛ける事業に関しては三浦市は他の市町村に比べて大変レベルが高いと思っております。

反面、行政が仕掛けると、市民が行政に協力するという構図になってしまいます。そこを何とか払拭したいと考えていますし、市民主導で行っているイベントはたくさんあるので、こういったことが、本当の地域振興につながっていくのだと思います。これからもよろしくお願いいたします。

※ 公表については了承を得ております。